

年度 2008 学期 前期	曜日・校時	火 2 木 2・3	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	韓国語 KOREAN					
対象年次	2年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	全学部		科目分類	外国語科目(韓国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 劉卿美(ゆう・きょんみ) / Eメール: <a href="mailto:you-kiss@net.nagasaki-u.ac.jp/">you-kiss@net.nagasaki-u.ac.jp/</a> 研究室: 全学教育事務室 2 階/TEL:(直通)095 - 819 - 2081 /オフィスアワー:月~金、昼休み						
担当教員(オムニバス科目等)						
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500 文字)</p> <p>授業のねらい: 韓国語 と で学んだ韓国語の基礎にさらに磨きをかけます。韓国ドラマを教材に、<b>韓国語文の基本しくみ</b> 語幹+<b>表現形</b>+語尾 に基づきながら、日常的に使われる<b>表現形</b>をさらに増やすことで、より豊かで表現ができるようにしましょう。また、韓国語はその語彙の約7割が漢字からなる<b>単語</b>で占められているうえに、そのほとんどが日本語と共通しています。ハングル式の漢字読みのコツを身につけることで、単語力を一気に増やしていきます。</p> <p>授業方法: 毎回の授業では授業の目標を達成するために、必要不可欠な文法事項を覚えていきます。授業では毎回課題が出されます。授業で習った文法事項を確実に身につけるために、出された課題をもって復習を行ってください。授業中はできるだけ多く、口頭による発音練習を行います。テキストに付いている CD を通してさらに発音練習を行ってください。</p> <p>授業到達目標: 日常的に使われる<b>表現形</b>をさらに増やすことで、より豊かで表現ができるようにしましょう。</p>						
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字)</p> <p>授業内容(概要) 毎回の授業ではまず、単語を 20 個ずつ覚えていきます。そして韓国ドラマのスキットの聞き取りをします。プリントで内容を確認。毎回2つずつ新しい表現をピックアップし、練習します。スキットの発音を練習。最後にもう一度聞き取りを行い、どれくらい聞き取れるようになったかを確認します。初級テキストの会話文(第 11 課~第 16 課)の練習。1 課につき、2回の授業(1 回目の授業で発音の確認と練習 CD を通して自学 2 回目の授業で指名し、ロールプレイ)。最後に課題の確認と回収をします。</p>						
	回数	日時	内容			
	1	4/15 4/10	おさらい			
	2	4/22 4/17	ドラマ(1) 第 11 課			
	3	5/13 4/24	ドラマ(1)			
	4	5/20 5/1	ドラマ(2) 第 12 課			
	5	5/27 5/8	ドラマ(2)			
	6	6/3 5/15	ドラマ(3) 第 13 課			
	7	6/10 5/22	ドラマ(3)			
	8	6/17 5/29	韓国事情 第 14 課			
	9	6/24 6/5	ドラマ(4)			
	10	7/1 6/12	ドラマ(4) 第 15 課			
	11	7/8 6/19	ドラマ(5)			
	12	7/15 6/26	ドラマ(5) 第 16 課			
	13	7/22 7/3	ドラマ(6)			
	14	7/29 7/10	ドラマ(6) *この以降、宿題の回収はしません。			
	15	8/5 7/31	総括(最終試験)			
キーワード						
教科書・教材・参考書	毎回プリントを配ります。プリントは紛失したり混ざったりしないように心がけてください。また韓国語 と で使ったテキストとプリントは、韓国語 ・ を通して使います。					
成績評価の方法・基準等	課題 20 % (4 段階評価。遅れて提出した場合は減点されます) 単語テスト 20% (10 点満点、3 回) 授業への取り組み方(授業への参加状況、授業態度など) 10% 最終試験 50%で、総合的に評価します。					
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ / 学習・教育目標						
備考(準備学習等)						